

平成 29 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市文化会館(岐阜市文化センター)	所管課	市民参画部 文化芸術課
所在地	岐阜市金町五丁目7番地2		
指定管理者名	一般財団法人 岐阜市公共ホール管理財団		
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日(5年間)		
選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募		
料金制	☒ 使用料 ☐ 利用料金 ☐ 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	334, 402, 000円(平成29年度、岐阜市民会館と合算)		
施設の設置目的	市民の文化及び教養の向上と福祉の増進を図るため。		
施設概要	催し広場1、小劇場1、練習室1、展示室1、会議室2、音楽室1、音楽スタジオ1、録音室1、美術工芸室2、和室2		

●利用状況

		H29 下半期	H29 上半期	H28 下半期	H28 上半期	H27 下半期
利用者数(単位:人)		104,353	70,069	90,929	84,396	94,133
各室稼働状況(%)	催し広場	62.6%	41.1%	55.3%	35.6%	43.1%
	小劇場	72.8%	50.9%	69.5%	46.7%	72.3%
	練習室	80.4%	75.0%	77.1%	73.9%	82.7%
	展示室	62.1%	51.7%	62.0%	51.1%	60.1%
	会議室	84.0%	81.8%	91.6%	92.0%	89.9%
	音楽関係室	92.9%	98.3%	97.6%	90.4%	88.6%
	美術工芸室	94.1%	94.9%	97.0%	89.2%	94.7%
	和室	66.3%	57.4%	66.9%	65.3%	74.4%

●業務の履行確認

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①適正に運営されている。 ②施設は職員11人が配置されている。適宜研修を実施しており、各業務を適切に遂行している。 ③年間の広報計画に基づき、広報ぎふやフリーペーパー、さらに有料広告等を活用し、積極的な広報活動を実施している。 ④指定管理者が定めた受付マニュアルに基づき、適切に対応している。
自主事業・提案事業	下記自主事業の実施 ①市民ジャズ・ビッグバンド「楽市JAZZ楽団」事業 ②子ども伝統文化体験教室・発表会(和太鼓)&出前講座 ③第39回ぎふアジア映画祭 ④市民スタッフ事業 ⑤市民プロデュース公演応援プロジェクト(公募) ⑥ぎふ演劇ワークショップ ⑦岐阜市中学校美術作品展2017 ⑧「楽市JAZZ楽団」地域貢献事業 ⑨「戯曲セミナー&リーディング発表会」 ⑩市民スタッフ育成事業	①市民ジャズ・ビッグバンド「楽市JAZZ楽団」事業 ・1月21日(日) 第10回ぎふジャズフェスティバル実施 1170人 ②子ども伝統文化体験教室・発表会(和太鼓)&出前講座 ・11月21日(火) 出前講座(能楽) 芥見東小学校 72人 ③第39回ぎふアジア映画祭 ・10月14日(土)～12月2日(土) 2,319人 ・12月2日(土) コトリゴLIVE 458人 ④市民スタッフ事業 ・12月9日(土) 市民スタッフチャレンジ企画 “がんばれ若鮎” 第3弾 「岐阜でみつけた未来の星」 86人 ・2月3日(土) 「上を向いて歩こう」&うたごえ広場 401人 ・2月4日(日) 「上を向いて歩こう」&うたごえ広場 633人 ⑤市民プロデュース公演応援プロジェクト(公募) ・11月11日(土) 第22回採択事業 「ダンス・フラメンカ」 238人 ・1月24日(水) 第23回審査会実施 ⑥ぎふ演劇ワークショップ ・2月17日(土)、18日(日) 一般の部 35人 ・3月11日(日)、17日(土)、18日(日) 中学生の部 280人 ⑦岐阜市中学校美術作品展2017 ・毎月市内中学校2校の展示 ⑧「楽市JAZZ楽団」地域貢献事業 ・10月6日(金) 加納西小学校出前コンサート実施 291人 ・10月13日(金) 第125回東海市長会出演 ・11月2日(木) 第23回寺町サミットin岐阜出演 ・11月11日(土) 藍川東中学校出前コンサート実施 245人 ・11月23日(木・祝) 楽市スタンダードジャズLIVE実施 305人 ・12月22日(金) クリスマス・ジャズ講座実施 350人 ・2月12日(月・祝) 岐阜聖徳学園高校出前ジャズ講座 30人 ⑨「戯曲セミナー&リーディング発表会」 ・1月27日(土) 優秀短編発表会 90人 ⑩市民スタッフ育成事業 ・11月26日(日) 研修 小林教授 ・1月13日(土) 出張研修 扶桑文化会館
施設管理	①清掃業務 ②守衛業務 ③受付業務 ④建築物環境衛生管理業務 ⑤エレベーター設備保守点検 ⑥各種点検業務	毎日の日報及び実地調査にて履行状況を確認 ①清掃業務 ・日常清掃(開館前清掃、施設使用後の清掃)について計画通り実施 ・定期清掃(ワックスがけ、ガラス清掃、絨毯清掃)について計画通り実施 ②守衛業務 ・定期巡回(午前0時、午前6時、午後7時)、鍵・扉の開施錠業務、照明の点消灯業務、駐車場の管理業務について計画通り実施 ③受付業務 ・毎日午前8時～午後8時までの受付、案内、接遇、電話対応、簡易な事務補助、OA機器操作補助、催し物掲示板整理業務について計画通り実施 ④建築物環境衛生管理業務 ・貯水槽の清掃、水質検査業務、汚水槽・排水槽の点検清掃業務、病害虫等調査・防除業務について計画通り実施 ⑤エレベーター設備保守点検 ・年1回の法定点検を実施。 ⑥各種点検業務 ・実施計画に基づき、順次実施

施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	経年劣化等による故障を受け、速やかに修繕を実施した。 ・地階受水槽室受水槽給水配管定水位弁他取替修繕 ・1階守衛室防火用シャッター修繕 ・北側出入口錠前修繕 ・催し広場湯沸室天井スプリンクラー配管修繕 自主点検等による、先を見越した修繕及び、利用者の利便性に繋がる修繕を実施した。 ・第2会議室雨漏り修繕 ・車いすタイヤ取替修繕 ・和室(舞台付)椅子台車の設置 ・第1会議室の会議用机更新
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①岐阜市個人情報保護条例及び同施行規則並びに財団規程に基づき、適正に管理運営を行っている。 ②独自の危機管理マニュアルを定め、地震、火災や風水害、事故・事件等について、全ての職員が適切に対応できる体制を整え、来館者の安全を守る意識を高めている。 ③当施設の条例及び施行規則や関係法令を遵守し、適正に運営されている。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	・1月4日～1月31日までの施設利用者(団体)111団体に「ご利用者カード」への記入を呼び掛け、92団体からの回答を得た。 アンケート質問項目は、「使用会場」「職員の対応」「敏速な対応」「的確な対応」「館内清掃」「備品満足度」「今後も利用したいか」「他施設の候補を考えたか」「利用の決め手」「当施設を以前から知っていたか」「情報媒体」。 ・常時「ご意見箱」とその記入用紙を館内(受付カウンター)に設置。 ・「ご意見受付シート」により、来館者、利用者の意見・要望を把握するよう努めている。
利用者アンケートの実施結果	○ご利用者カード集計結果 回収総数 92枚(回収率82.0%) 「使用会場」 催し広場 4.4%、小劇場 4.4%、練習室 6.2%、展示室 8.8%、会議室 28.3%、音楽室 9.7%、音楽スタジオ 10.6%、第一美工 4.4%、第二美工 13.3%、和室(舞台付) 3.5%、和室(茶室付) 6.2% 「職員の対応」 非常に良い 64.1%、良い 31.5%、普通 3.3%、悪い 0%、非常に悪い 0%、無記入 1.1% 「敏速な対応」 非常に良い 67.4%、良い 27.2%、普通 4.3%、悪い 0%、非常に悪い 0%、無記入 1.1% 「的確な対応」 非常に良い 65.2%、良い 26.1%、普通 6.5%、悪い 0%、非常に悪い 0%、無記入 2.2% 「館内清掃」 非常に良い 65.2%、良い 27.2%、普通 6.5%、悪い 0%、非常に悪い 0%、無記入 1.1% 「備品満足度」 非常に良い 54.3%、良い 31.5%、普通 7.6%、悪い 3.3%、非常に悪い 0%、無記入 3.3% 「今後も利用したいか」 思う 91.3%、思わない 0%、無記入 8.7% 「他施設の候補を考えたか」 考えなかった 67.4%、考えた 23.9%(他施設…岐阜市民会館、じゅうろくプラザ、ハートフルスクエアG、公民館、岐阜商工会議所など) 無記入 8.7% 「利用の決め手」 使用料金 18.6%、附属設備 3.4%、収容人数 10.2%、交通の便・駐車場 28.8%、利用時間 8.5%、職員の対応 4.0%、知人の紹介 4.5%、岐阜市の施設である 9.0%、利用目的に合う 10.2%、その他 2.8%、無記入1.1% 「当施設を以前から知っていたか」 はい 87.0%、いいえ 12.0%、無記入1.1% (主な意見) ・当会館を利用して11年目に入りました。これからも出来る限り利用させていただきたいと思っています。 ・いつもありがとうございます。今後も公演などで(練習)使わせていただきたいと思います。これからもよろしくお願いします。 ・とてもきれいで良い部屋を使用させていただきありがとうございました。今回は、朗読練習でしたが、音楽(合唱)でも使わせていただきたいと思います。 ・いつも丁寧かつ的確な対応をしていただき、ありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
利用者からの要望・苦情と対処・改善	利用者から寄せられた意見等に対しては、直接本人に回答するようにしている。窓口対応で利用者と職員が顔の見える関係を築くことが重要と考えているため、アンケート等に記入されていないようなご意見や要望なども、コミュニケーションの中から把握し、「ご意見受付シート」を活用して文化センター全体で共有するようにしている。 (主な意見と対応) ・少人数になったため会議室から音楽室に変わり、一年になります。とても使い勝手がよく料金も少なく良かったですが、机がもう1つあると良いです。 →音楽室については音楽関係以外の利用も増加しているため、利用者の利便性向上を図り、机を1台追加した。 ・以前はイスが6脚だけ外に積んでありましたが、最近は全て上に積み上げてしまっており使いづらいです。下ろす時に腰を痛めるので以前と同じように6脚だけ下に下ろして置いて下さい。よろしくお願い致します。 →他の利用者からも同様の要望があったため、6脚は台車から降ろして設置することとした。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区 分	選定基準	評 価 項 目	具体的な業務要求水準	評 価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等 利用が確保 されること	平等利用を確保するための体制	・岐阜市の文化芸術振興の拠点施設として、住民の平等利用の確保をはじめ、岐阜市の施策に沿った運営を行っているか	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・市の情報公開制度に基づき公開されているか。 ・指定管理者の発行する広報誌、チラシやホームページで広報されているか	A	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書 の内容が、 対象施設の 効用(設置 目的)を最 大限発揮す るものであ ること	文化芸術事業を行っていく上での方針 と主な事業計画	・市民の文化芸術への参加・参画の促進、文化芸術の普及・啓発、文化芸術を担う人材の育成、優れた文化芸術の鑑賞機会の提供に積極的に取り組んでいるか	S	S	S
		市民協働を取り組んでいく上での方針 と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、市民との協働に積極的に取り組んでいるか	S	S	S
		貸館業務・管理業務・舞台業務を行っ ている上での方針と主な事業計画	・岐阜市の文化芸術振興の拠点施設として、文化芸術に関する相談、助言など付加価値のある貸館業務に取り組むとともに、安全な管理業務、舞台業務の運営につとめているか	A	A	A
		既存業務の改善、工夫又は新規の魅 力的な提案の有無	・業務内容を常に見直し、業務改善に取り組んでいるか	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及 び対応方策(利用者に対するサービス の向上)など	・利用者へのアンケート調査を実施しているか ・また、その結果、利用者の要望、クレームに対し適切に対応しているか	A	A	S
		利用促進、利用者増の方策	・新規利用者の獲得、リピーター確保による利用促進を図っているか	A	A	A
		サービスの質を確保するための体制	・施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	A	A	A
		区分評価				S
効率性	事業計画書 の内容が、 管理経費の 縮減が図ら れるもので あること	管理経費縮減の具体的方策	・管理経費は効率的かつ適切に使用されているか ・省エネ管理マニュアルなどをもとに、光熱水費削減に努めているか ・収支予算と実績とは大きくかい離していないか	A	A	A
		スタッフ配置の妥当性(効率的な管理 運営を図るための体制など)	・職員の人材育成に努め、効果的かつ適切な運営体制であるか ・文化センター及び市民会館を合わせた管理運営を効果的に行っているか	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書 に沿った管 理を安定し て行う物的 能力、人的 能力を有し ていること	スタッフの管理、監督体制など	・事業を実施するために必要な資格や知識・経験を有する職員を配置しているか ・より良いサービス、活動を提供するために職員が勤務しやすい職場環境ができているか	A	A	A
		スタッフの人材育成の方策	・業務に必要な研修を実施し、資質の向上に努めているか	A	A	A
		リスクへの対応方策・能力(利用者の安全 確保策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理マニュアル・緊急連絡網等を整備し、緊急事態に対応できる体制が整っており、実際発生した際には対応ができたか ・また、個人情報保護等法令順守は適切に行われているか	S	S	S
		施設管理業務を行っていく上での方針 と具体策	・施設管理業務を行う上での方針に沿った修繕を行っているか ・各種機械設備の保守点検、危機管理体制の整備、あるいは安全に十分に留意した管理運営を行っているか	A	A	A
		区分評価				A
貢献性	事業計画書 の内容が、 岐阜市ある いは施設が ある特定の 地域(以下 「地元」とい う。)の振 興、活性化 などに貢献 できるもの	地元の文化団体等の育成	・地元のアーティストを活用するなどし、文化団体等の育成に努めているか	S	S	S
		その他地元への貢献に関すること	・利用者以外の市民の問い合わせ等に対応しているか。また、地域の文化芸術を通じた地域振興に取り組んでいるか ・まちのにぎわいへの地域貢献しているか	A	A	A
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み に対する評価	1. 貸し館業務 平成29年度下半期において、昨年度比で、施設使用料が約43万円減少した。これは催し広場の利用は増加したものの、小劇場、会議室の利用が減少したためであり、音響改修工事、ピアノ改修工事のため1か月以上小劇場と練習室が利用休止となった点が大きく影響した。催し広場については、上半期に引き続きアイドルイベントや合同転職説明会の利用があり、利用の定着が期待できるため、引き続き利用促進に取り組んでいく。小劇場、会議室については、利用促進を図るため製薬会社やアウトソーシング、ピアノ教室等を中心に営業活動を行い、1月17日(水)・18日(木)に利用相談会を実施した結果、2日間で10団体18名が来館された。今後継続的に利用いただけるようしっかりとフォローを行っていく。 2. 施設管理 開館から33年が過ぎ、施設の経年劣化が進んでいる状況である。その中で、下記のような運営努力を行い、施設の安全性及び利便性向上やエコオフィスに取り組んでいる。 ①第2会議室雨漏り修繕や北側出入口錠前修繕などの適切な修繕を実施した。 ②施設の安全管理に必要な改修工事については、優先順位を決定して、すぐに岐阜市に提案するなど、岐阜市と緊密な連携を取り、施設運営をしている。 ③省エネマニュアルに基づき冷暖房の温度設定を管理し、冷暖房費の節減に努めた。また、電力量のピークを管理するデマンド計を導入することで、電気使用量の適正な管理が可能となり、電気料金の節約に努めている。 3. 市民の劇場・市民ふれあい事業による地域貢献 ①「楽市JAZZ楽団」事業、及び同楽団による「地域貢献」事業では、地域の学校や催しに赴いて演奏を実施したほか、ジャズフェスティバルのプレ企画としてスタンダードジャズLIVE、クリスマス・ジャズ講座等を実施することで、児童や普段生のジャズ・ポップス演奏に触れることの少ない市民に貴重な機会を提供した。また、楽団10周年かつ信長公岐阜入城・岐阜命名450年を記念して、信長公をモチーフにした楽団オリジナル曲「夢幻～信長と濃姫～」を制作し、依頼演奏やプレ企画、ジャズフェスティバルで披露した。第10回ぎふジャズフェスティバルにおいては1000名を超える集客があり、地域の活性化に貢献することができた。 ②「子ども伝統文化体験教室」では市内小学校へ能楽出前講座を実施し、約70名の児童に普段触れる機会の少ない伝統文化を体験する機会を提供した。 ③「第39回ぎふアジア映画祭」では、岐阜駅に隣接するハートフルスクエアGにてポスター展を開催し、岐阜市文化センター、岐阜市民会館に加えて柳ヶ瀬のCINEXでも上映を実施するなど、岐阜のまちの賑わいづくりに貢献した。 ④「市民スタッフ事業」では、「チャレンジ企画」においては「落語」を取り上げ、全日本学生落語選手権「策伝大賞」の優勝者を輩出するなど活躍が目覚ましい岐阜大学落語研究会を招き、地元の若手噺家を紹介する機会を提供した。また、本編では「上を向いて歩こう」の映画上映とともに、映画上映当時の柳ヶ瀬の思い出について市民スタッフと一緒に映像にまとめ、当日上映したほか、「うたごえ広場」においては、高校生の吹奏楽の演奏を実施するなど、地域文化の活性化に貢献することができた。 ⑤市民プロデュース公演応援プロジェクトでは、第23回の審査会を実施し、1団体採択となった。また、第22回採択事業「ダンス・フラメンカ」が11月に実施され、公演や広報活動のサポートの成果もあって大勢の来客があった。これを機に自力で主催公演を継続されることを期待したい。 ⑥「ぎふ演劇ワークショップ」では、2月には一般の部が開催され、名古屋で活躍する劇作家から指導が行われた。また、3月に行われた中学生の部では、地元で活躍する劇団員から演劇の基礎を学ぶとともに、県内5つの中学校による発表会が行われ、夏の大会に向けた全体的なレベルアップに繋がった。 ⑦「戯曲セミナー&リーディング発表会」では、受講生の作品の中から優秀作品を選出し、優秀短編発表会としてリーディング形式で発表会を開催した。当日は90名の来場があり、受講者、来場者ともに好評を得ることができ、岐阜の演劇文化の発展に貢献することができた。 ⑧「市民スタッフ育成事業」では、古典芸能に造詣が深い大学教授を講師に招き、「落語と歌舞伎」と題した講義をしてもらい、歌舞伎や落語などの古典芸能への関心を高めることができた。また、文化ボランティアの先進事例を学ぶため、扶桑文化会館への出張研修を実施した。
前回までの意見を 踏まえた取組み状況	1. 取組み状況 上半期には岐阜商工会議所のリニューアルオープンに備えた利用者の定着についてご意見をいただいた。利用者アンケートや日々のコミュニケーションから利用者の要望をくみ取り、サポートを行うことで利用者の定着に取り組んだ結果、他施設への移行は限定的であった。今後も引き続き利用促進と定着に取り組んでいく。 2. 貸し館業務・施設管理 これまでも評価いただいたように、年2回実施する利用者アンケートではいずれの項目でも「非常に良い」「良い」の回答を多くいただいているが、アンケート満足度の高さに甘んじることなく、常に利用者からのご意見を取り上げていきたい。また、施設の修繕や安全管理に関しては、事故等なく施設運営を行っている。地震や火災などを想定した総合防災訓練を年2回実施しているが、休日や夜間帯の少数勤務体制を想定したより実践的な避難訓練に取り組み、防災危機意識を高めている。 3. 市民の劇場・市民ふれあい事業 上半期には「初心者のためのダンスワークショップ」についてダンス文化の普及に貢献した企画としてご評価いただいた。下半期に実施した事業についても、「楽市JAZZ楽団」事業においてジャズ文化の普及、「子ども伝統文化体験教室・発表会」において能楽文化の普及、「戯曲セミナー&リーディング発表会」において演劇文化の普及など、地域に根差した文化芸術の普及に努めている。その他事業についても市民ボランティアが企画から参加する「市民スタッフ事業」、「ぎふアジア映画祭」を実施して多くの市民に文化芸術に触れる機会を提供することができた。市民参画創造型事業である「楽市JAZZ楽団」地域貢献事業においても、積極的に地域の学校やイベントの出演依頼を受けることで、地域の文化振興に貢献している。

今後の取り組み	1. 貸し館業務 ①下半年に文化センター催し広場改修工事、市民会館大ホール改修工事を実施することで長期間ホール系施設が使用できないため、小劇場を始め文化会館の各施設を代替会場として利用いただけるよう市民会館と協力して取り組んでいく。 ②参加者の高齢化に伴い活動を終了する利用者が増えているため、美術工芸室や音楽関係室についても定期利用いただける新規利用者の獲得と定着に取り組んでいく。 2. 施設管理 ①経年劣化に伴う故障、異常を念頭に置き、こまめな日常点検を実施し、速やかな修繕対応、岐阜市への工事要望を実施する。 ②気候の急な変動など冷暖房需要が高まった場合や燃料費の高騰などにも対応できるように、省エネマニュアルに沿って、光熱水料費の節約に努めるように取り組んでいく。 3. 市民の劇場・市民ふれあい事業 ①「楽市JAZZ楽団」では、5月に団員募集を実施し、6月に総オーディションを実施する。学校への出前コンサートの企画・実施や、第11回ぎふジャズフェスティバルに向けて準備を進めていく。 ②「初心者のためのダンスワークショップ」では、モダンダンス(コンテンポラリー)のワークショップ参加者を募集する。7月にワークショップの実施に向けて取り組む。 ③「絵本deクラシック」は5月のチケット発売に向けてのPR活動と、8月の公演実施に向けて準備を進めていく。 ④「子ども伝統文化体験教室・発表会(和太鼓)」の参加者を募集する。8月に練習を実施し、発表会に向けて取り組む。 ⑤「松竹大歌舞伎」は6月のチケット発売に向けてPR活動を充実し、9月の公演実施に向けて準備を進めていく。 ⑥「第40回ぎふアジア映画祭」では、9月からの開催に向けて、市民スタッフとともに会議を実施し、選定作品・企画を練っていく。 ⑦「市民スタッフ事業」では、月2回の企画会議を実施し、市民スタッフと一緒に企画を練り上げていく。 ⑧「市民プロデュース公演応援プロジェクト〈公募〉」では、5月から企画を募集し、7月に審査会を実施する。また、7月公演の採択事業のPR協力、当日実施に向けての支援をしていく。 ⑨「ぎふ演劇ワークショップ」では、5月に高校生の部を開催する。 ⑩「岐阜市中学校美術作品展」では、4月から1か月単位で市内中学校2校による共同展示を開催する。 ⑪劇団ジャブジャブサーキット公演「ランチタイムセミナー」は、6月の公演実施に向けての準備とPR活動を進めていく。 ⑫「楽市JAZZ楽団」地域貢献事業では、中高生を対象とする「夏休み体験教室」を8月に開催する。 ⑬「戯曲セミナー」の講座を7月から月1、2回ペースで実施する。 ⑭「グレン・ミラー・オーケストラ」については、8月にチケット発売を行い、11月の実施に向けて準備を進めていく。 ⑮「市民スタッフ育成事業」では、市民スタッフの活動に役立つ、外部研修や出張研修の実施準備を進めていく。
----------------	--

●所管課の意見

適切な人員配置及び業務委託により、安全に十分留意した管理運営が行われている。

文化センターは開館して33年が経過し、施設・設備機器に経年劣化が進んでいるが、日常の点検業務や計画的な修繕によって施設の維持管理、安全性に努めている。また、異常を早期発見することで、修繕で終えることができ、円滑な施設運営ができていることは評価できる。

稼働率は0.4ポイントの微減ではあるが、利用者数は昨年度比13,424人増であった。催し広場で美術展覧会、勇気の証言・ホロコースト展を開催し、来場者の多い展示会があり、約15%増加した結果になった。岐阜商工会議所のリニューアルオープンの利用者流出も懸念されたが、大きな影響もなく、利用者定着に努力されていることは評価できる。

指定事業においては、「ぎふアジア映画祭」でコリンゴLIVEの特別企画を行うなど、新たな取り組みが功を奏し昨年度比で約900人増加したことは高く評価できる。また、楽市JAZZ楽団事業では、信長公450プロジェクトに協力し、新たに「夢幻～信長と濃姫～」を作曲して演奏したことや、出前講座で市内、市外に訪問して、岐阜市の音楽文化の発信等に貢献されたことも評価できる。

今後も文化の拠点として、アウトリーチを含め岐阜市の文化を親しむ土壌を培う一翼を担うことを期待する。

●指定管理者評価委員会の意見

- ・施設は古いが綺麗に管理されている。
- ・ホールにおけるイベント開始前に、緊急地震速報に関するアナウンスをすることとなっているが、あらかじめ録音したものを用意し、流せるようにしておくといい。
- ・アンケートにおける意見に対し真摯に対応し、改善すべきことは改善している点は評価できる。ぜひ継続してほしい。